

平成30年度地域密着型金融に関する上期取組状況(H30.4～H30.9月)

当金庫は、「地域と共生し豊かな街づくりに奉仕する。」「顧客に最良の金融サービスを提供し信頼に応える。」ことを経営理念として掲げ、創業以来培ってきたお客さまとのリレーションシップをもとに、地域金融機関としての機能発揮に役職員一同本気で取組み、「地域で最も信用、信頼される金融機関」を目指しています。

平成30年度につきましても、「顧客企業の経営改善等に資するコンサルティング機能の発揮」に一層注力するとともに、「地域の面的支援・活性化への取組強化」「地域や利用者に対する積極的な情報発信」の推進を通じて、引き続き金融仲介機能の発揮に向けて地域密着型金融の実践に積極的に取り組んで参ります。

1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

(1) 日常的・継続的な関係強化に向けた取組み

具体的取組策	上期取組状況
<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画策定への関与と効果的なモニタリングの実施 ・商談会、相談会、セミナー等を活用した企業支援の強化、経営課題の抽出と支援策の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営支援先37先、認定支援先25先に対して、営業店と本部が定期的に訪問を行い、経営計画書の策定・進捗のモニタリングや課題解決に向けた提案・指導を継続的に実施、うち2社がランクアップ ・販路拡大支援としてビジネスフェアや商談会の参加案内や専門家による事業承継をはじめ経営相談会への参加などライフステージに応じた支援メニューを提案 ・中小企業基盤整備機構のミラサポ専門家派遣制度を1先が利用 ・兵庫県よろず支援拠点と連携した事業承継個別相談を実施し取引先16先が利用。また、よろず支援拠点サテライトを案内し14先が利用 ・地域活性化に向けて宍粟市・宍粟市商工会と「第4回しそうビジネスサポート」の共催を立案、平成30年12月13日開催に向けて企画

(2) 目利き能力の向上

具体的取組策	上期取組状況
<ul style="list-style-type: none"> ・顧客企業のライフステージ等に応じた事業ニーズに対応できるように、「目利き力」の向上に向けた人材の育成 ・中小企業診断士の養成を継続して実施 ・経営者保証に関するガイドラインに対応した取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ものづくり補助金申請支援」と「当庫の支援メニュー」の勉強会を開催(4/4・5・6)、事業承継基礎研修を開催(8/25) ・外部研修:近信協主催の「融資渉外研修会」に3名派遣、兵信協及び近信協主催の「事業性評価・コンサルティング機能強化講座」に3名派遣 ・通信講座:「法人融資渉外実践講座」3名受講、「法人融資渉外基本講座」7名受講、「中小企業融資目利き力養成講座」5名受講 ・経営者保証に関するガイドラインの取組状況としては、新規に無保証で融資した件数が94件、保証契約を変更した件数が1件、保証契約を解除した件数が33件で合計128件

(3) ビジネスマッチングの推進

具体的取組策	上期取組状況
<ul style="list-style-type: none"> ・外部機関、業界ネットワーク等を活用したビジネスマッチングの推進 ・企業支援情報の提供と活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・大手企業とのビジネスマッチング機会の創出に兵庫県信用金庫協会「川上・川下ビジネスネットワーク事業」のシーズ・ニーズ企業登録を新たに2社申請 ・販路開拓に業界ネットワークを活用した各種ビジネスフェアや商談会への参加を提案。「おかやましんきんビジネス交流会」「あまがさき産業フェア」他ビジネスフェアに16社参加、信金中央金庫他の商品募集等に5社申請 ・ひょうご産業活性化センター、中小企業基盤整備機構、神戸商工会議所などの販路開拓や経営力向上に繋がる情報提供並びに補助金・助成金の活用を案内。経営革新計画策定1先支援、経営力向上計画策定4先支援や補助金申請16先支援(うち承諾7先)を実施

(4) 創業・新事業支援、経営改善支援、事業再生、事業承継等に向けた取組み	
具体的取組策	上期取組状況
<ul style="list-style-type: none"> ・地域自治体、商工団体等と連携した創業・新事業支援の取組強化 ・経営課題解決に向けた支援と外部専門家派遣の活用強化 ・外部機関等を活用した事業承継への取組強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・宍粟市・宍粟市商工会・日本政策金融公庫との創業支援事業の協定に基づき、「創業塾」を10月に6回シリーズで開催予定 ・創業・第二創業・新事業の創業支援に積極的に取組み融資実行18先、うち日本政策金融公庫と3先について協調融資 ・取引先の経営課題解決に向けて、兵庫県立大産学連携機構、日本貿易振興機構(JETRO)、新産業創造研究機構(NIRO)、中小企業基盤整備機構、ひょうご産業活性化センター、兵庫県よろず支援拠点、認定支援機関など多くの外部専門機関と連携した支援実施 ・公的機関等外部機関を活用した事業再生支援について、中小企業再生支援協議会を1社が利用、兵庫県信用保証協会の経営サポート会議を1社が利用、専門家派遣制度を8社が利用
<ul style="list-style-type: none"> ・医療・介護等成長分野への取組強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療・福祉分野11件270百万円、環境・太陽光分野4件150百万円、農業・林業分野1件2百万円の合計16件422百万円を取組
<ul style="list-style-type: none"> ・次世代経営者を対象にした経営改善支援、事業承継等のセミナー実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・3回シリーズで10月9日に第1回を開催予定
(5) 外部専門家・外部機関等との連携	
具体的取組策	上期取組状況
<ul style="list-style-type: none"> ・事業性評価に向けた外部専門家との連携 ・コンサルタント機能強化に向けた外部機関との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業性評価、コンサルティング機能の強化に公的機関等外部機関と連携した取組みを実施。ひょうご産業活性化センター「技術・経営力評価報告書」による評価書作成1社、特許庁「知財ビジネス評価書作成支援事業」2社申請し評価書作成中 ・兵庫県事業承継ネットワークに参加し、事業承継診断16先実施
2. 地域の創生・活性化支援への取組強化	
具体的取組策	上期取組状況
<ul style="list-style-type: none"> 「一般財団法人にしん地域振興財団」を通じた地域創生・活性化に向けた積極的な取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のコミュニティ活動助成事業に対し141万円を助成 ・青少年健全育成助成事業に対し154万円を助成
<ul style="list-style-type: none"> ・地域自治体等と連携した地域創生・活性化に向けた取組 ・地域創生に係る取組において宍粟市と協調 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の高等学校と連携し、地域活性化(地域のにぎわいづくり)の取組みとして、当金庫本店ショーウィンドウに3作品を展示 ・宍粟市地域創生戦略委員会に委員として参画(6/29・9/10) ・宍粟市および宍粟市商工会との合同による「就業支援事業連絡会」に毎月参加 ・宍粟市および宍粟市商工会との三者包括連携協定を締結(6/25) ・宍粟市介護サービス事業者選考委員会に委員として出席(7/17) ・9月3～4日の日程で岡山県真庭への視察に当金庫から4名が参加、同視察結果を山崎経営者協会にて発表(9/28) ・西播磨地域創生戦略会議に委員として参画(7/3) ・佐用町まちづくり推進会議に委員として参画(7/26)

3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

具体的取組策	上期取組状況
・ホームページやディスクロージャー誌等を活用した地域の取組の情報発信	・平成29年度の「地域密着型金融の取組状況」をホームページ(6月)とディスクロージャー誌(7月)で公表 ・平成30年度の「地域密着型金融の推進計画」をホームページ(6月)で公表 ・西播磨地域の中小企業102社を対象にした景気動向調査を実施し、調査結果を「にしん景況レポート」として公表(4月、7月)

4. その他地域貢献

具体的取組策	上期取組状況
小中学校での金融教育活動の実施	・姫路市高浜小学校の生徒約30名が、生活科授業の一環として飾磨支店に来店。生徒からの質疑応答に対し職員が対応(6/21) ・当金庫の職員親子を対象に、職場見学と金融教育を実施(8/9実施、22家族、57名参加)

※「一般財団法人にしん地域振興財団」は、西播磨地域におけるコミュニティの形成及び地域の振興発展を図るため、コミュニティ活動、地場産業の活性化及び公共施設の整備などに対する支援を行い、地域社会の発展に寄与することを目的に、当金庫が基金の全額を拠出して設立された財団です。